



報告時間：10分  
資料枚数：11枚  
※表紙・目次抜き

# Hondaにおける 労働時間短縮の取り組みについて

2014年10月15日（水）  
本田技研工業株式会社 労政企画部

- Hondaフィロソフィーにある「**人間尊重**」、  
創業者精神にある「**よく働き、よく遊べ**」などの考え方に基づく  
企業風土が根付いている
- **他社に先駆けて過去から**時間短縮/有休取得促進に向けた  
取り組みを積極的・継続的に実施（有給休暇カットゼロ、ノー残業デーなど）
- **労使での協力により**、継続して展開することで従業員に  
浸透させてきた（当たり前化）

## **(目次)**

### **1.Hondaの理念**

### 2.労使での協力による労働時間短縮の取り組みの歴史

### 3.主な労使の取り組みのご紹介

(1) ノー残業デー

(2) 有休取得促進について

有休取得カットゼロ運動

連続有休取得制度

各職場での計画取得に向けた取り組み

労働組合の取り組み

### 4.有給休暇取得実績（直近の実績）

### 5.課題と対応

## ● Hondaフィロソフィー（企業理念）

社是

わたしたちは、地球的視野に立ち、世界中の顧客の満足のために、質の高い商品を適正な価格で供給することに全力を尽くす。

## Hondaグループの目的・存在理由

基本理念

人間尊重 自立  
平等  
信頼

三つの喜び 買う喜び  
売る喜び  
創る喜び

運営方針

常に夢と若さを保つこと  
**理論とアイデアと時間を尊重すること**  
仕事を愛し職場を明るくすること  
調和の取れた仕事の流れを作り上げること  
不断の研究と努力を忘れないこと

## ● 企業風土



「人間尊重」の  
創業精神

- ・よく働きよく遊べ
- ・高効率高賃金
- ・時間を尊重する

『TOPTALKS 語り継がれる原点』より

※歴代トップの言葉を詰めた一冊の本（社内向け）

「企業は人なり」より一部抜粋  
技術のみならず、事務の合理化にしても  
すべて時間というものがついてくる。

生きているのも自分の持ち時間があるから  
で、限られた人生においても、いかに  
有効に時間を利用するか、という点に  
焦点を合わせて考えなければならない。

基本理念に基づき、多様な従業員一人ひとりが持てる力を発揮できるよう  
働きやすい職場環境作りに力を注いでいる⇒**時間を有効に利用するという風土の醸成** 2/11

## **(目次)**

### **1.Hondaの理念**

### **2.労使での協力による労働時間短縮の取り組みの歴史**

### **3.主な労使の取り組みのご紹介**

#### **(1) ノー残業デー**

#### **(2) 有休取得促進について**

**有休取得カットゼロ運動**

**連続有休取得制度**

**各職場での計画取得に向けた取り組み**

**労働組合の取り組み**

### **4.有給休暇取得実績（直近の実績）**

### **5.課題と対応**

# Hondaにおける労働時間短縮の歴史

## 労働法制

時系列	制定内容
S22 1947年	1週48H/1日8H の法制化



S63 1988年	1週40H/1日8H の法制化
--------------	--------------------

## Hondaの取り組み

時系列	内容
S38 1963年	夏の2ヶ月間で8h/日、 週40h完全5日制テスト実施 <b>ノー残業デーの導入</b>
S40 1965年	隔週5日制テストスタート →7.5h/日、週41h15m
S42 1967年	隔週5日制導入
S45 1970年	<b>有休取得カットゼロ運動</b>
S46 1971年	連続有休取得制度導入 (S63,H4年制度改定)
S47 1972年	完全5日制導入 (製作所中心)
S48 1973年	<b>完全5日制導入 (本社部門)</b>

## 本田技研労働組合の取り組み (労働時間短縮を積極的に行う)

時系列	内容
S36 1961年	労組の夏季特別休暇4日要求 * 7h/日、週42h6日制 2交替勤務開始 * S37年 ILO総会で労働 時間短縮勧告案を採択。 (週40時間)
S39 1964年	4ヵ月間の完全週5日制 テストを会社に要求
S40 1965年	隔週5日制を9ヵ月、夏期 3ヵ月間の週5日制を 会社に要求
S46 1971年	年間労働日数253日、休日 112日の完全週5日制実施 を会社に要求

労働法制/他社に先駆けて、労使での協力により労働時間短縮に積極的に取り組んできた 3/11